

研究実施のお知らせ

2026 年 7 月 3 日 ver.1.1

研究課題名

肺塞栓症評価における肺気腫領域強調 Dual-energy CT iodine map の読影支援および血流低下領域識別に関する検討

研究の対象となる方

島根大学医学部附属病院にて 2023 年 10 月から、2026 年 7 月までの間に CT 装置 Revolution Apex Elite (GE HealthCare) で肺塞栓症疑いにて造影 CT 検査を受けられた方。

研究の目的・意義

肺塞栓症とは、肺の血管に血の塊（血栓）が詰まる病気です。

造影剤を用いた dual-energy CT 検査では、肺の血管の中に血栓があるかどうかを調べることができ、さらに肺の血流の状態を色で表示した画像を作成することができます。この画像を iodine map といいます。iodine map を用いることで、肺の血流が低下している部分を確認しやすくなります。

しかし、iodine map で血流が低下しているように見える部分は、必ずしも肺塞栓症だけが原因とは限りません。たとえば、肺気腫などの慢性的な肺の変化がある場合にも、血流が低下しているように見えることがあります。そのため、肺塞栓症による血流低下なのか、肺気腫などによる変化なのかを判断することが難しい場合があります。

本研究では、iodine map に、肺気腫のような肺の変化がある部分を重ねて表示した画像を作成します。この画像を用いることで、血流が低下して見える部分が、肺塞栓症によるものか、肺気腫などの肺の変化によるものかを、医師が判断しやすくなるかを調べます。

さらに、追加の検討として、CT 画像から得られる情報を用いて、血流が低下して見える原因を判別する方法についても検討します。

本研究により、肺気腫などの慢性的な肺の病気を持つ患者さんにおいて、肺塞栓症ではない部分を肺塞栓症と誤って判断してしまう可能性を減らし、より正確な画像診断を支援できることが期待されます。

研究の方法

2023 年 10 月から、2026 年 7 月までの間に放射線部 7 番 CT 装置 Revolution Apex Elite（GE HealthCare）で肺塞栓症疑いにて造影 CT 検査を受けられた方の画像および診療データ（年齢、性別など）を後ろ向きに評価させていただきます。データは氏名、カルテ番号などを削除し、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

研究に関するデータ及び関連資料は研究結果の最終報告を行ってから 10 年間は保管し、その後氏名、カルテ番号を削除した状態で廃棄（消去）します。

研究の期間

2026 年 09 月 07 日から 2031 年 3 月 31 日まで

研究の公表

この研究から得られた結果は、放射線技術学関係の学会や放射線技術学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院放射線部 細越翔太

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2027 年 3 月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院放射線部 細越翔太
〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1
電話 0853-20-2435